

田舎留学プロジェクト



2025年2月1日 発行 Vol.5

南伊豆町 地方創生室 / 田舎留学プロジェクト 事務局

田舎留学プロジェクトとは…

南伊豆町民と本留学参加者である東京の大学生が、町民の事業のお手伝いなどの交流を通し、助け合う関係性(=相互依存関係)を形成することで、本留学参加者が南伊豆町に住まずとも町の一員になること(=関係人口)を目指す新しい滞在体験です。2025年9月の実施のため、早稲田大学の有志の5名が準備を進めています。



12月フィールドワーク3日目のご報告

今回は12月フィールドワーク最終日の様子をお届けします！
佐藤農園さんでは、みかん畑を眺めながら、農業のことから獣害まで幅広いお話をいただきました。吉祥再生会さんでは、休耕田の再生に関するお話を伺い、実際に水田も見学させていただきました。
そして、お昼ご飯にはしいの木やまさん、夕方のお茶休憩にはkamochayaさんを訪問しました。しいの木やまさんの新鮮な食材を活かしたパスタ、kamochayaさんの他では見られない様々な種類の野草茶はとてもおいしかったです！
また、昨年2月のフィールドワークにてお話を伺ったコド・コドさんにも訪問し、オーナーのよしえさんに田舎留学の開催についてご報告させていただきました。ご協力いただいている皆様にいい報告ができるよう、これからも頑張りたいと思います！

東京でも準備を進めています

普段は東京で活動している田舎留学メンバーですが、南伊豆町を訪れていない期間も、事業の準備や南伊豆町に関係する方々との交流を行っています。

1月中旬には、JR大宮駅(埼玉県)で開催されていた「伊豆産直市」にて湯の花さんのブースにお邪魔させていただきました。イチゴやみかんなどの果物をはじめ、幅広い種類の名産品が立ち並んでおり、ブースは賑わいを見せていました。他にも、シェアバー「あのひと」でのローカル×ローカルさんのイベントやセミナーへの参加など、田舎留学の実施に向けて積極的に活動しています。



編集後記

今号の編集を担当しました、早稲田大学政治経済学部2年の中村友泉です。私は幼少期から現在まで埼玉県に住んでおり、近所の方や親戚との交流がない空間で過ごしてきました。地方創生に興味があり参加した地域連携ワークショップで南伊豆町を訪れる中で、「人のあたたかさ」に惹かれ、この魅力を活かしつつ南伊豆町を活性化する施策を実行したいという思いで今も田舎留学の実施に向けて活動しています。これまで海外や地方でのボランティア・研修経験がないため至らないところもあるかと思いますが、精一杯頑張りたいと思います。今後とも応援・ご協力のほどよろしくお願いいたします！

お問い合わせ

南伊豆町役場 企画課 地方創生室
静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
Tel.0558-62-1111(代)
またはinakaryuugaku@gmail.com

SNSで情報発信中

Instagram・X : @inakaryuugaku
note・Facebook : 田舎留学プロジェクト